

教材教具名	プットイン教材	分類	ステージ I	認知
		授業名	自立活動	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始点—終点を分かりやすくする。</li> <li>・ラテラルリティ(つまみ操作)の発達を促す。</li> </ul>			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・ビー玉を入れる。→音がすることで、入ったことを確認できます。
- ・うまく入れるために、利き手とは反対の手を使って支える必要があります。

<材料>

- ・タッパー、ビー玉、ガラス瓶

<工夫点>

- ・全盲、難聴でリクルートメント反応がある生徒のために作った教材です。生徒に聞こえて、かつ苦痛にならない音になるよう、ガラス瓶を使っています。

- ・うまく入れるために、利き手とは反対の手で支える必要があります。

※補足・・・リクルートメント反応とは、難聴耳の場合、聴覚補充現象のため、上手く聞き取れる音の範囲が狭くこれを超える大きい音を聞いていた時に騒音痛を生じること。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・わかりやすいので、見通しをもって取り組みました。

教材教具名	くるくるビーズ	分類	ステージ I	認知
		授業名	余暇 (小学部)	
ねらい	・くるくると回りながら落ちてくるビーズを見て楽しむことができる。			

教材教具の概要



<使用方法>

・ペットボトルを動かしてビーズが落ちる様子を楽しみます。

<材料>

・ペットボトル、針金、ビーズ、おゆまるくん

<工夫点>

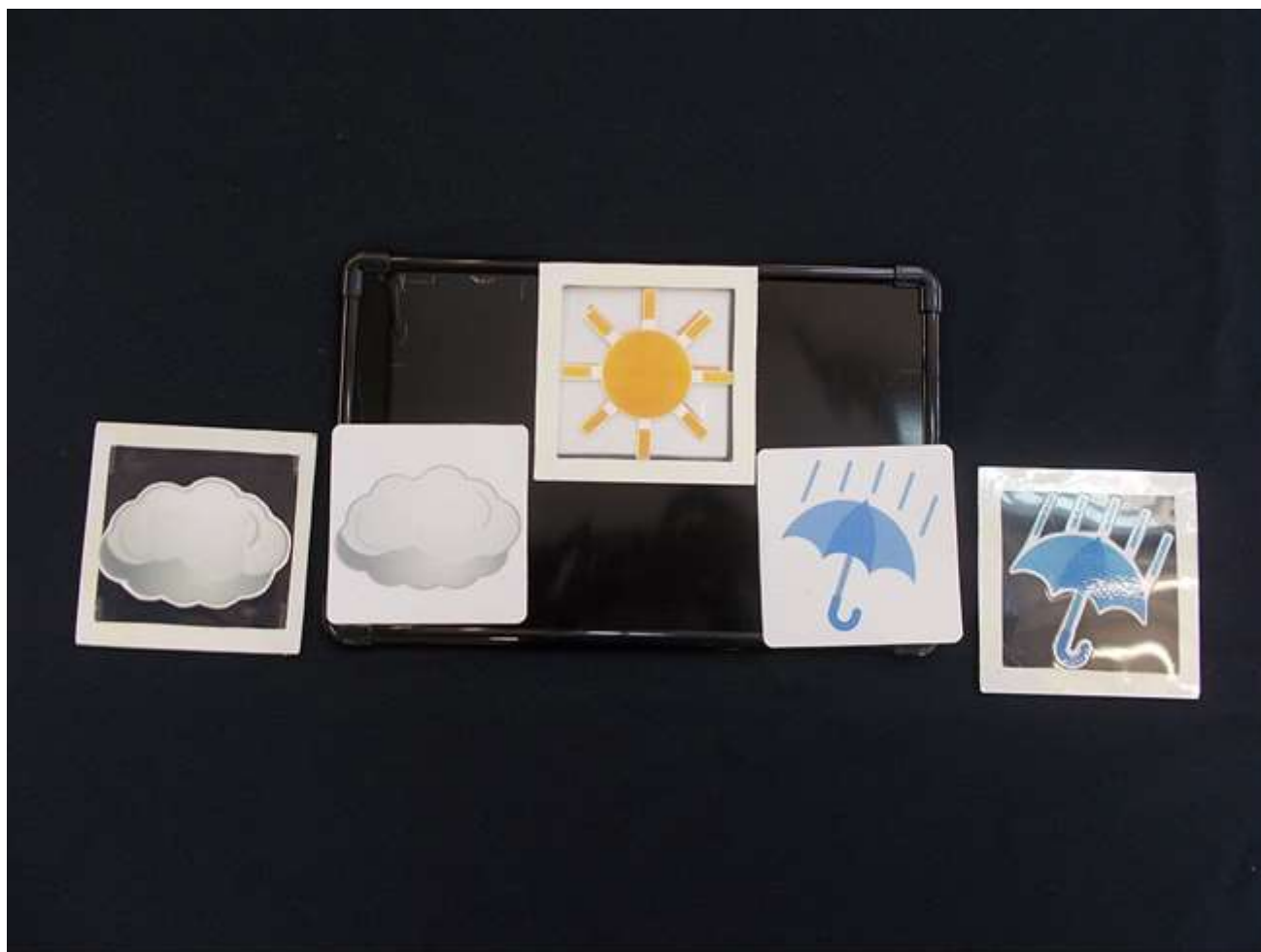
- ・ビーズがスムーズに落ちるように、針金をカーブさせました。
- ・おゆまるくんで蓋があかないようにし、ビーズの誤飲が無いようにしました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・子どもが、くるくるとビーズが落ちる様子を楽しんでいました。
- ・おゆまるくんに練りこまれていた香りを楽しむ様子も見られました。

教材教具名	お天気マッピング	分類	ステージ I	認知
		授業名	朝の会 (小学部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天気を意識し、視覚的に選択する。</li> <li>・同じ表示をマッチングする。</li> </ul>			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・朝の会での天気の確認時に使用します。
- ・重ねてマッチングできるように、周りが透明になっているカードで子どもに選択させます。
- ・同じ天気マークにマッチングさせ、正解であることを確認させます。

<材料>

- ・ラミネート、板紙

<工夫点>

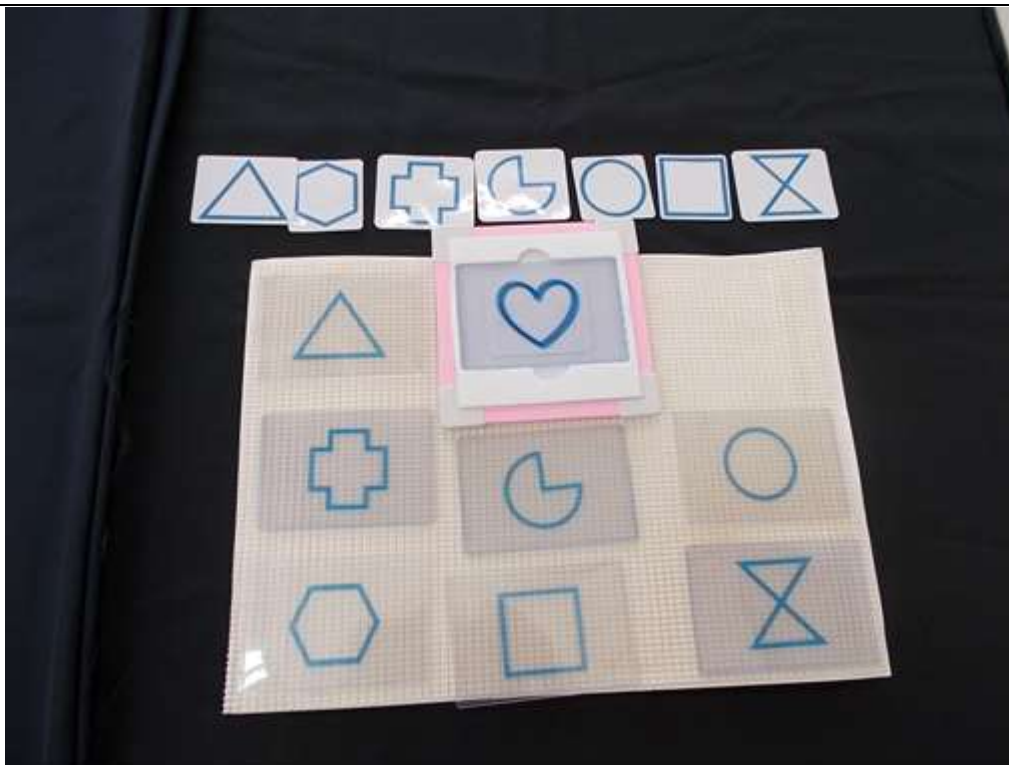
- ・マッチングがより分かりやすいように、天気マークの周りを透明にしました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・周囲を透明にしたことで、正しく置けているか理解することができました。

教材教具名	8型マッチング	分類	ステージ I	認知
		授業名	個別課題 (小学部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形を見分けるができる。</li> <li>・提示された形カードと同じ形カードがわかる。</li> </ul>			

教材教具の概要



<使用方法>

・枠の中に提示されたカードと同じ形のカードを複数のカードから選び、枠の中にはめる。

<材料>

・A7硬質ケース、フィルムラベルシール、ホワイトボード、貼りパネ、マグネットシート、厚紙、滑り止めシート

<工夫点>

- ・透明なカードにし、枠を作ることで、正誤を自分で見比べられるようにした。
- ・カードを硬質ケースにし、滑り止めシートの上にカードを置くことで、つかみやすいようにした。
- ・枠にくぼみを入れることで、自分で取り外しができるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

・間違いに自分で気づくことができた。カードが滑らないことでモチベーションがあがり、学習の意欲向上につながった。

教材教具名	重ね合わせよう	分類	ステージⅡ	認知
		授業名	国語・数学 (中学部)	
ねらい	・4つのマス目の中でどの位置にシールが貼られているか捉え、位置関係を学ぶ。			

教材教具の概要



<使用方法>

・見本シートに貼られたシールのとおりに、透明シートを重ね置く。

<材料>

・黒画用紙 ・丸シール ・マジックテープ ・ラミネートフィルム

<工夫点>

・マス目を透明シートにし、重ね合わせての正解確認ができるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

・マス目を透明シートにしたことで、重ね合わせるという意識が持てるようになった。

教材教具名	動物・乗り物・食べ物カード	分類	ステージⅡ	認知
		授業名	国語・数学・自立活動 (高等部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物・乗り物・食べ物の名前を知る。</li> <li>イラストカードの仲間分けをする。</li> </ul>			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・指示されたカードを取る。
- ・提示されたカードの名前を答える。
- ・カードの仲間分けをする。

<材料>

- ・クリアファイル
- ・紙

<工夫点>

- ・覚えたらイラストカードを変えられるようにクリアファイルを活用しました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

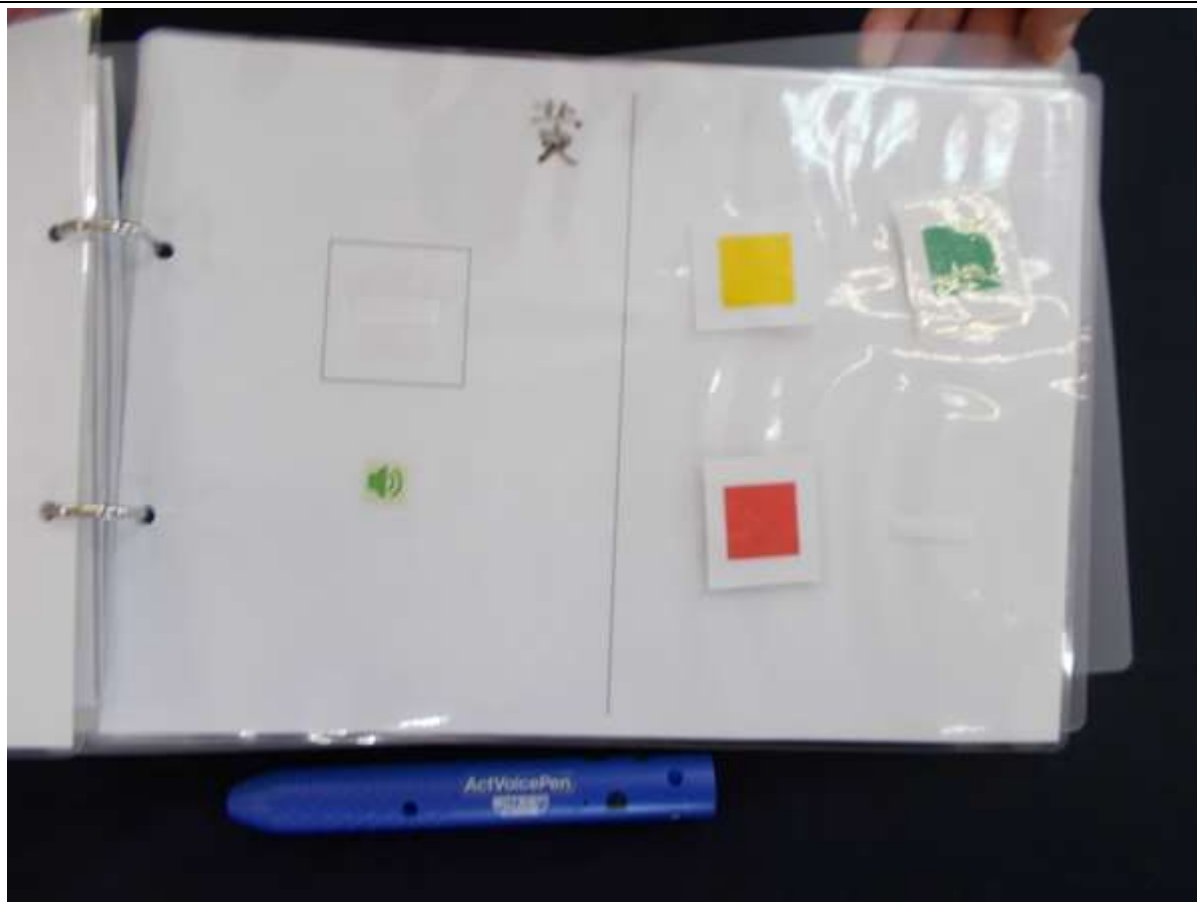
- ・クリアファイルを使ったことで容易にカードを交換でき、子どもの習得度に合わせて内容を変更することができた。
- ・カードの中身が変わることで、飽きにくい効果もあった。



令和3年度 教材教具展

教材教具名	色の名前	分類	ステージⅢ-1	認知
		授業名	個別課題／自立活動 (小学部)	
ねらい	・色の名称を知り、正しく選ぶことができる。			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・ボイスペンを使用し、色の名称を確認する。
- ・ページの後半では問題に答える。

<材料>

- ・ラミネートフィルム、ボイスペン(Act Voice Pen)

<工夫点>

- ・ボイスペンを使用することで、楽しみながら取り組むことができるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・ボイスペンを使用することで、楽しみながら取り組むことができた。
- ・何度か取り組むうちに、自分で間違いに気づき、訂正することができた。

教材教具名	大・小の理解	分類	ステージⅢ-1	認知
		授業名	個別課題 (小学部)	
ねらい	・「大きい」「小さい」の理解を促す。			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・食べ物的大小を提示する。
- ・「大きい〇〇が食べたいな」とお腹がすいて泣いているくまさんを提示し、「大きい〇〇」を渡すように促す。
- ・裏側の笑顔のくまさんには正解を貼っておく。
- ・くまさんを裏返し、正誤を一緒に確認する。

<材料>

- ・ラミネートしたカード、マジックテープ

<工夫点>

- ・くまさんを裏返した時に、正解を子どもが見てわかるようにした。

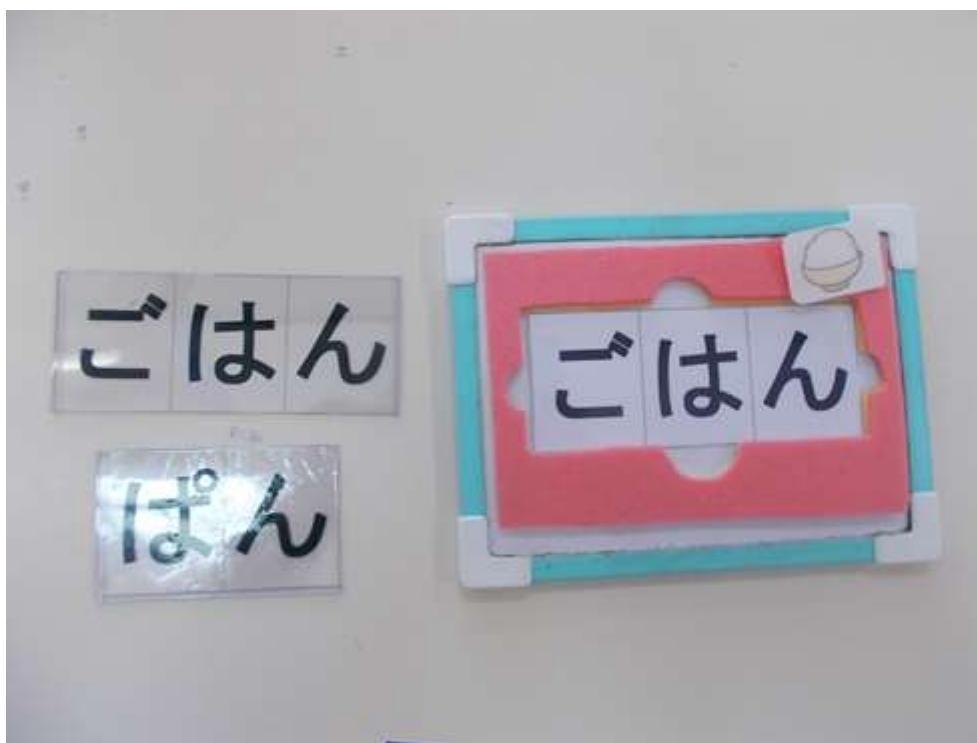
<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・子どもが興味のある身近な食べ物や動物を題材にし、さらにお腹がすいているくまさんに大きい食べ物をあげるという、子どもにとってより主体的な設定にしたことで、学習意欲の向上につながった。



教材教具名	ひらがなマッチング	分類	ステージⅢ-1	認知
		授業名	個別課題 (小学部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語の見分けができる。</li> <li>・提示された単語のカードと同じカードがわかる。</li> </ul>			

教材教具の概要



<使用方法>

・枠の中に提示された単語カードと同じカードを選び、枠の中にはめる。サインや発声も同時に行う。

<材料>

・硬質ケース、フィルムラベルシール、ホワイトボード、貼りパネル

<工夫点>

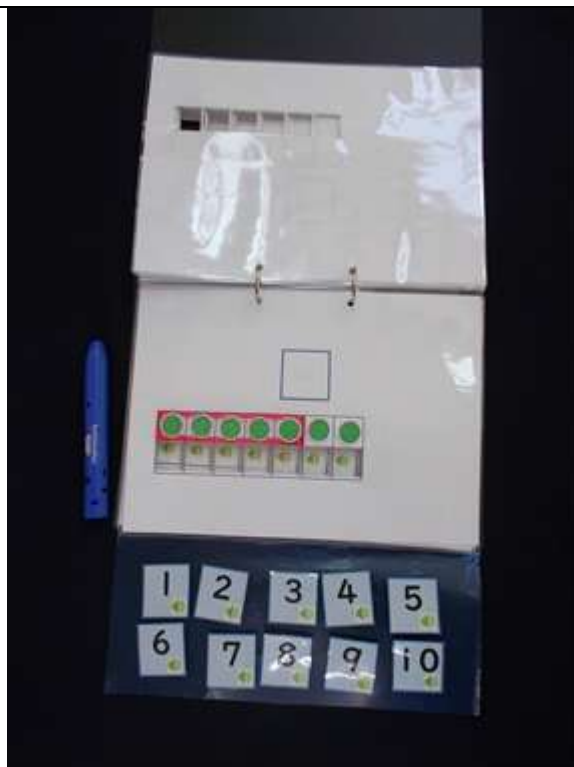
- ・透明なカードにし、単語の文字数に合わせた枠を作ること、正誤を自分で見比べられるようにした。
- ・カードを硬質ケースにし、つかみやすいようにした。
- ・枠にくぼみを入れ、自分で取り外しができるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

・間違いを選んだ時に間違いに気づきやすく、イラストを見ただけで、適切な単語を選べるようになった。

教材教具名	数量と数唱	分類	ステージⅢ-1	認知
		授業名	個別課題／自立活動 (小学部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5～10の数唱ができる。</li> <li>・半具体物を正しく数えることができる。</li> </ul>			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・ボイスペンを使用し、半具体物を数えます。
- ・半具体物の数と同じ数字を選びます。
- ・選んだ数字が正しいかをボイスペンで確認します。
- ・慣れてきたら、ページを抜くなどし、難しくしていきます。

<材料>

- ・ラミネートフィルム、ボイスペン(Act Voice Pen)

<工夫点>

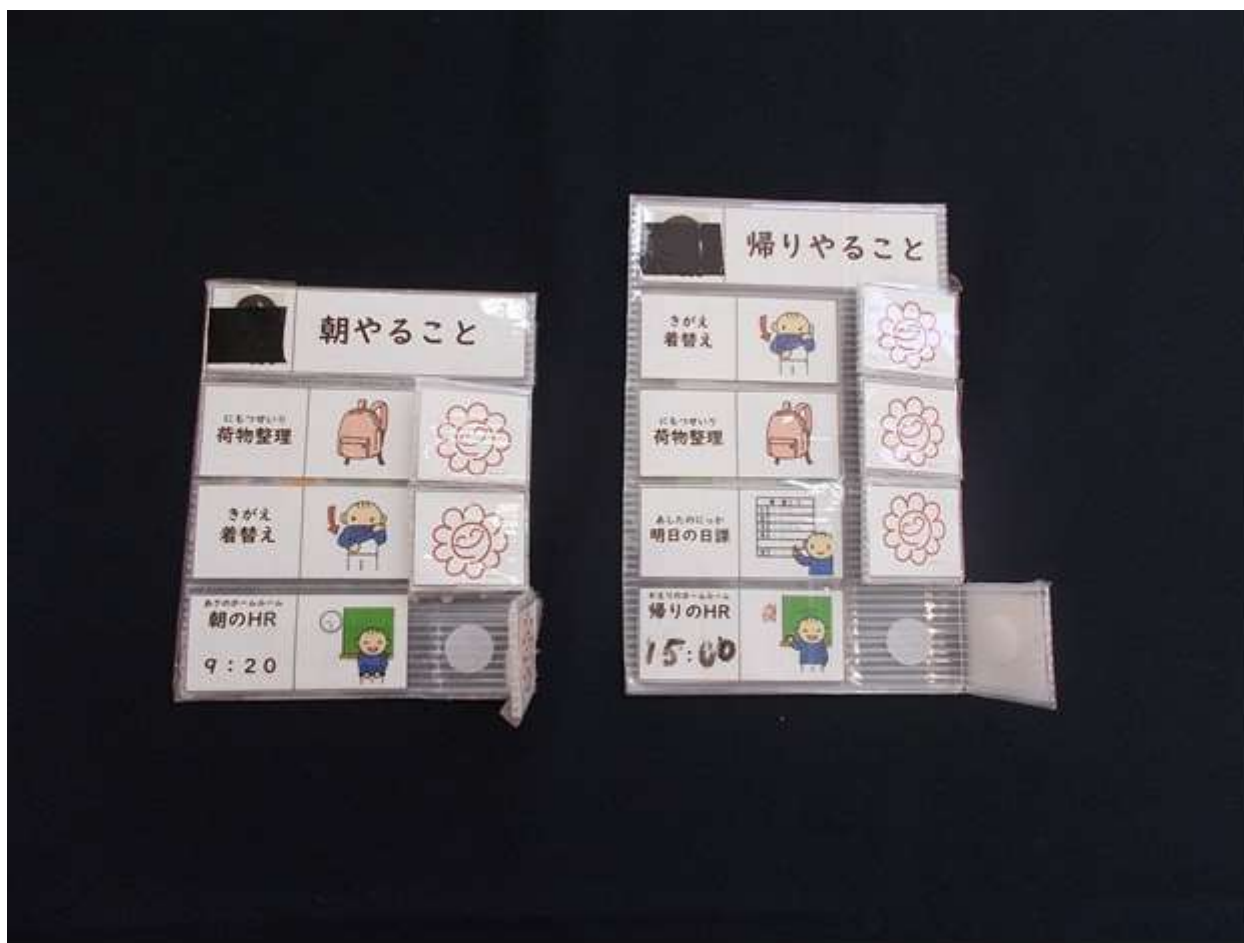
- ・ボイスペンを使用することで、楽しみながら取りくめるようにしました。
- ・選んだ数字が正しいか、自分で確認できるようにしました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・ボイスペンを使用することで、楽しみながら取り組むことができました。
- ・音が出る楽しさがあり、課題が終わった後「8、9、10」などつつがやく姿が見られました。

教材教具名	身支度を整えよう	分類	ステージⅢ-1	認知
		授業名	ホームルーム (高等部)	
ねらい	・決められた時間までに身支度を整えることができる。			

教材教具の概要



<使用方法>

・荷物整理、着替え、係の仕事、HR が終わるごとに、花丸を貼っていきます。

<材料>

・プラダン、透明テープ

<工夫点>

・1枚で完結できる形にした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

・言葉の指示をすると、正しく認識できず別の行動を行う生徒であった為、身支度に時間がかかっていた。少ない言葉かけで視覚的に活動内容がわかるようにすることで「つぎは？」の言葉かけのみで混乱することなく身支度ができるようになった。

教材教具名	文字のなぞり書き	分類	ステージⅢ-2	認知
		授業名	朝の会、個別課題／自立活動 (小学部)	
ねらい	・枠からはみ出さないで文字をなぞる。			

教材教具の概要



<使用方法>

・ホワイトボードマーカーで、枠からはみ出さずに文字のなぞりを行う。

<材料>

・のりパネル、ラミネートフィルム、両面テープ

<工夫点>

・段差を付けることで、はみ出さないよう意識できるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

・はみ出さずになぞりができるようになった。

教材教具名	ひらがな教材	分類	ステージⅢ-2	認知
		授業名	個別課題 (小学部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひらがなカードを読んで、正しいイラストを選んで貼る。</li> <li>・ひらがなカードの下に、ひらがなチップを正しく貼る。</li> </ul>			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・ひらがなカードの文字を教員と確認し、正しく読みます。カードが表しているイラストを2～3つの中から選んで貼ります。
- ・あらかじめ貼ってあるカードの下にチップを正しく貼り、自分でひらがなの言葉を構成します。

<材料>

- ・パネル・マグネット・ホワイトボード・イラスト

<工夫点>

- ・できるようになってきたら、イラストの下に文字チップで言葉を構成します。しりとりあそびのように、言葉じりの文字と同じ言葉を見つけて貼るなど、実態に応じてアレンジして使用するようになりました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・2～3文字の身近な動物や身の回りの物の言葉から行うことで、意欲的に取り組むことができました。カードの下にチップをマッチングさせる時に、1文字ずつ発音しながら貼り、自分などで言葉を構成することを楽しんでいました。

教材教具名	ひらがなキューブ	分類	ステージⅢ-2	認知
		授業名	国語 ( 高等部 )	
ねらい	・キューブを操作して文字を並び替え、単語をつくる。			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・並べ替えたらず語が完成するようにキューブを置いておき、子どもに並び替えをさせる。
- ・お題の単語や、自分の名前などで並び替えを行う。

<材料>

- ・100均の木片
- ・ラミネートシート
- ・紙
- ・両面テープ

<工夫点>

- ・文字を探しやすいように、1つの木片には、行ごとの文字(あ行の木片、か行の木片等)を貼った。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・文字を書くのが苦手な生徒も意欲的に取り組めた。
- ・子どもの課題に応じて、難易度を調整することができた。

教材教具名	1文字ずつ言ってみよう	分類	ステージⅢ-2	認知
		授業名	国語・数学 (中学部)	
ねらい	・1つの単語の中の一文字一文字を意識して発音する。 ・単語の中に含まれている音に気づく。(音韻意識)			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・表示されているイラストを見て、教員と一緒に名称を確認します。
- ・画面をタップして、聞こえた音と一緒に文字を発音します。
- ・再度タップして、次の文字と一緒に発音します。

<材料>

- ・ipad(アプリ:key note)

<工夫点>

- ・対象としている子どもが好きな単語、よく使う単語を設定しました。

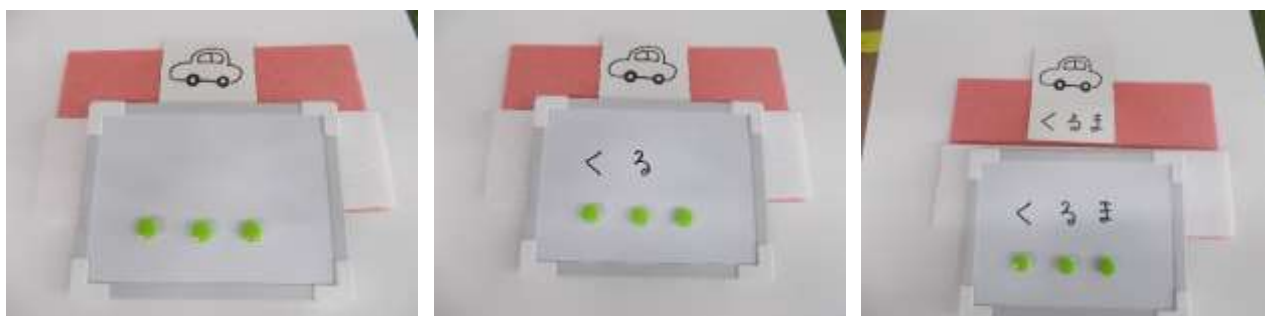
<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・明瞭に発音できる単語が少しずつ増えてきました。
- ・カードやプリントで同じような課題をやっていたときよりも意欲をもって課題に取り組むことができました。



教材教具名	イラストを見て文字を書くセット	分類	ステージⅢ-2	認知
		授業名	国語・数学 (中学部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストを見て文字をかける。</li> <li>・文字の写し書きの向上。</li> <li>・音韻意識(言葉がいくつの音でできているか等)をつける。</li> </ul>			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・イラストカードを見てその音の数を確認する(音の数分マグネットをホワイトボードに並べる)。
- ・一文字ずつ発音して音の数を確認。
- ・一文字ずつ書く。
- ・正解を確認する(イラストカードの下部分の正解を隠しておいた部分を見る)。
- ・間違えてしまった場合は、正解を見て文字を書き直す。
- ・もう一度教員と一緒に読む。

<材料>

- ・イラストカード(100均のもの)、スチロールボード、両面テープ、ホワイトボード、マグネット 筆記用具

<工夫点>

- ・イラストカードの文字が絶妙に隠れるように位置を調節した。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・写し書きする文字の向上(読みやすく文字を書けることが増えてきた。)
- ・日課の書き写しを正しくできない(「きゅうしょく」を「ぎゅうにゅう」等、予測変換して書いてしまう) 子どもの課題が改善した。

教材教具名	お金を数えよう(10円と1円)	分類	ステージⅢ-2	認知
		授業名	個別課題 (小学部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10円と1円の違いを理解する。</li> <li>・10円と1円が何枚でいくらかを理解する。</li> </ul>			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・買い物練習でお金を支払う場面で使用します。
- ・欲しい物の金額を記入し、10円を貼っていきます。
- ・1円を貼ったあとに10円と1円に分かれているカードを貼り合わせ、2桁の金額にします。

<材料>

- ・マジックテープ・イラスト・ラミネート

<工夫点>

- ・10円を貼る際は1の位が0と決まっているため、0をあらかじめ書いておき、お金が貼れないようにしました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・10円と1円を分けて貼れるため、金種の混同が減ってきました。
- ・金額を書いてからお金を貼ることで、何枚貼るかを見て確認しながらできました。